



議会だより

おやま

町議会

No. 127

発行：静岡県駿東郡小山町議会

新たに当選されました 13人の議員





阿部 司 渡辺悦郎 米山千晴

須走地区




高畑博行 鷹嶋邦彦

成美地区

小山町

北郷地区





池谷洋子 桜井光一 梶 繁美





込山恒広 池谷 弘 真田 勝

足柄地区



湯山鉄夫

明倫地区



湯山宏一

5月・7月
臨時会

■ 議長に真田勝氏 副議長に鷹嶋邦彦氏を選出 …2

■ 常任委員会などの委員改選 ……3

■ 常任委員会報告 ……5

6月
定例会

■ 町政のここが聞きたい 一般質問に8人 ……6

■ 私からの提言 ……14

5月臨時会

議長に真田勝議員 副議長に鷹嶋邦彦議員 を選出

任期満了に伴う、町議会議員選挙が行われ、13人の新しい議員が決まりました。そして、5月12日に臨時議会を開催し、正副議長等の選挙を行いました。その結果、議長には真田勝議員、副議長には鷹嶋邦彦議員を選出しました。また、常任委員会等の委員も新たに決めました。



議長 真田 勝

議長就任にあたって

このたび、議長に選出されましたことは、誠に身に余る光栄であり、その責任の重大さを痛感すると共に身の引き締まる思いであります。

私たちが議員を取り替く情勢は、地方分権社会を真のものとするため、行政改革を推進する中、議会の果たすべき役割と責任は、以前にも増して、重くなっています。このような中、議会をより活性化し、議会の機能向上に向け、全力を傾注してまいります。

また、小山町は、昨年の台風9号による未曾有の被害に遭い、只今復旧工事の最中にあります。このような中で、依然厳しい財政状況ではありますが、町民の期待と信頼に応え、町政の発展と町民福祉の向上を図るため、町議会の公正で公平な運営に誠心誠意努力してまいります。

どうか皆様方の温かいご声援をお願い致します。



副議長 鷹嶋 邦彦

副議長就任にあたって

選挙後の臨時議会において、副議長に推挙いただき、職責の重さを痛感する日々が続いています。

さて、昨年9月8日に小山町を襲った台風9号の大災害の爪あとが生々しく残る現在ですが、復旧・復興にはもう少し時間が掛かるようです。町財政も昨今の経済情勢を反映してか、一段と厳しさを増してまいりました。町が明るさを取り戻せるよう、これら町を取り替く諸問題にも、議員各位のご協力をいただきながら、町民の皆さんが「暮らしやすい町」をめざして、議長の補佐役として、議会のまとも役として全力を傾注し、自然体で臨んでまいります。

議会運営委員会

定数5人
議会を円滑に、しかも効果的に運営するために、常任委員会とは別に設置している委員会です。

- ① 議会運営の責任者である議長の諮問的な性格を帯びた委員会で、次のような事項に関する調査及び議案、陳情等の審査を行います。
- ② 議会の運営に関すること
- ③ 議会の会議規則、委員会に関する条例等に関すること
- ④ 議長の諮問に関すること

- 委員長 梶 繁美
- 副委員長 池谷 弘
- 委員 桜井 光一
- 委員 米山 千晴
- 委員 鷹嶋 邦彦

その他選出議員

- ◎ 御殿場市・小山町広域行政組合議会議員
- 副議長 梶 繁美
- 議員 阿部 司
- 議員 池谷 弘
- 議員 桜井 光一
- 議員 米山 千晴

総務建設委員会

人数6人



- ・行政の総合的な企画調整
- ・土地利用
- ・税金
- ・道路や河川、公園の整備
- ・都市整備
- ・住宅政策、地籍調査
- ・商工業の振興、消費者対策
- ・農業振興

米山千晴 委員長 湯山宏一 副委員長
 阿部 司 委員 湯山鉄夫 委員
 梶 繁美 委員 込山恒広 委員

※6月～9月はクールビズの実施をしているため、ノーネクタイ、ノー上着です。

文教厚生委員会

人数6人



- ・義務教育、生涯学習
- ・戸籍
- ・国民健康保険
- ・福祉
- ・介護保険
- ・町民生活や健康
- ・消防、防災
- ・環境、衛生

桜井光一 委員長 渡辺悦郎 副委員長
 高畑博行 委員 池谷 弘 委員
 池谷洋子 委員 鷹嶋邦彦 委員

◎教育委員会委員の選任
 教育委員会委員の鈴木俊一さんが、7月2日に任期満了で退任されることになったため、新たに稲惠子さん(向方区)を選任することに全員同意しました。

◎議会災害復旧対策特別委員会
 委員長 米山千晴
 副委員長 桜井光一
 委員 議長を除く10名
 オフサーバー 議長

◎議会広報対策特別委員会
 委員長 鷹嶋邦彦
 副委員長 高畑博行
 委員 湯山宏一
 委員 渡辺悦郎
 委員 湯山鉄夫

◎議会広報対策特別委員会
 定数5人
 年4回発行する「議会だより」の編集に携わっています。

◎議会広報対策特別委員会
 定数5人
 年4回発行する「議会だより」の編集に携わっています。

◎議員連合
 阿部 司
 ◎駿東地区交通災害共済組合
 合議会議員
 真田 勝(議長)

◎議員連合
 込山恒広
 ◎駿豆学園管理組合
 議員
 込山 正秀(町長)



▲町道4196号線、国道138号東富士五湖道路と小山町道との連結箇所を視察する総務建設委員

6月定例会

繰越計算書の報告 4件
 条例の廃止 1件・改正1件
 補正予算 1件

平成23年度第5回6月定例会が6月2日から15日まで、会期を14日間として開催されました。
 今定例会には当局から補正予算を含め9議案と議会から特別委員会の設置など2議案、合計11議案が提出され、審議の結果、いずれも原案どおり承認可決しました。

7月臨時会

7月4日に第6回臨時会が開催されました。当局から補正予算（第3号）、農業委員の選任について審議され、原案どおり可決されました。

補正予算（第3号）

全員可決

農業委員の選任

農業委員に渡邊かな枝さん（南藤曲区）と小野美枝子さん（阿多野区）の2名を議会推薦することに全員一致で決定しました。



▲取り壊される予定の小山町立養護老人ホーム「福寿荘」

☆副町長に土村曉文氏の選任を同意



土村 曉文 副町長

土村氏は48歳で、昭和56年に静岡県に奉職し、静岡土木事務所、静岡県立大学、総務部東京事務所、企業局企画経営室、総務部自治財政室、企画調整局などを歴任されてきました。同時に、固定資産評価員に選任することにも同意しました。

条例の廃止・改正

☆小山町立養護老人ホーム設置条例を廃止する条例

☆小山町国民健康保険条例の一部を改正する条例

☆小山町税条例の一部を改正する条例（専決処分）

報告

☆平成22年度小山町一般会計予算継続費繰越計算書の報告

☆平成22年度小山町一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告

☆平成22年度小山町一般会計予算事故繰越繰越計算書の報告

9月定例会のお知らせ

9月定例会を次のように開催する予定です。

◆9月2日 町長から9月議会への提出議案の説明、委員会付託

◆9月7日 決算質疑

◆9月9日 一般質問

◆9月13日 総務建設委員会

◆9月14日 文教厚生委員会

◆9月22日 常任委員会委員長の審査報告、質疑、採決

※変更になる場合があります。

総務建設委員会の報告

平成23年度 小山町一般会計補正予算(第2号)の議案審議

委員長 米山千晴



▲崩壊した町道原向中日向線を視察する委員

▲ 具体的な作業の内容は、現場監督員1人に対し、新規雇用者4人を1グループとして4班体制を考えています。

▲ 流木を撤去、玉切りしたものをストックヤードへ運搬し、それをトラックで木質バイオマスの製造工場の方へ運搬して再利用していただくと考えます。

▲ 業者の方はまだ決まっていません。管理につきましても、町の農林課

▲ 総務建設委員会は6月9日に開催され、平成23年度小山町一般会計補正予算、第2号の議案について審議を行い、いずれも原案のとおり可決されました。

▲ 主な内容は次のとおりです。

※平成23年度一般会計補正予算

▲ 農林水産事業費(農林業) 農林水産事業費(農林業) 総務費の森林資源利用業務5千万円の委託業者法人は、どういう関係の方が受託されるのか。作業内容は、どういう内容か、伺います。

▲ 1点目は、森林境界の明確化で、120万円を実施するものです。

▲ 2点目は、高性能林業機械の導入で、125万円を増額させていただいたものです。

▲ 3点目は、流通経費支援、間伐材の有効利用ということで、37万5千円を、トータルで282万5千円を計上させていただいたものです。

▲ 今回の方で管理の対応をしていきたいと考えています。

▲ 財政調整基金3千700万円の繰り入れをどういう基準で入れているか。そして残高はどの位か伺います。

▲ 今回の事業に対しまして、国の補助金や県の補助金等々の中で足りないものについてこの基金から一般会計の方へ繰り入れて使用するというものです。

▲ 財政調整基金の残高は約2億2千万円ほどになります。

▲ 森林整備加速化林業再生事業補助金282万5千円の内容について伺います。

文教厚生委員会の報告

3議案の審議(小山町国民健康保険条例の一部を改正する条例等)

委員長 桜井光一

▲ 1 小山町立養護老人ホーム設置条例を廃止する条例

▲ 老人ホームと老人福祉センターを含めて跡地の利用計画は。

▲ 町では取り壊しの完了とともに地主さんに土地をお返しした上で跡地利用について地主さんの御意向を伺いながら検討して参りたい。取り壊しは予算の様子を見ながら時期を考えたい。

2 小山町国民健康保険条例の一部を改正する条例

▲ 出産育児一時金が38万円から42万円に手厚くなったが、今、出産にかかる費用は平均的にどの位かかるのか。

▲ 通常、普通分娩の場合は42万円以内に納まります。難産の場合は医療診療で補填されます。

▲ 近年の小山町に在住している方の出産の件数は。

▲ 小山町の国保加入者の出産状況は18年度

▲ 文教厚生委員会は、6月10日に開催され、3議案の審議を行い、いずれも全員賛成で原案のとおり可決しました。主な内容は次のとおりです。

1 小山町立養護老人ホーム設置条例を廃止する条例

▲ 老人ホームと老人福祉センターを含めて跡地の利用計画は。

▲ 町では取り壊しの完了とともに地主さんに土地をお返しした上で跡地利用について地主さんの御意向を伺いながら検討して参りたい。取り壊しは予算の様子を見ながら時期を考えたい。

▲ 21人、19年度16人、20年度17人、21年度14人、22年度17人です。

3 平成23年度小山町一般会計補正予算(第2号)について

▲ 衛生費60万円の修繕料は。

▲ あしがら駅前クリニックで地震の影響かと思われませんが漏水がありエアコンと火災報知器の設備が壊れ、その修繕料です。もう一件、なかがわ医院が10年経過した浄化槽のプロワーが故障したための修繕料です。

▲ 21人、19年度16人、20年度17人、21年度14人、22年度17人です。

▲ 平成23年度小山町一般会計補正予算(第2号)について

▲ 衛生費60万円の修繕料は。

▲ あしがら駅前クリニックで地震の影響かと思われませんが漏水がありエアコンと火災報知器の設備が壊れ、その修繕料です。もう一件、なかがわ医院が10年経過した浄化槽のプロワーが故障したための修繕料です。



▲耐震工事の進む小山中学校校舎を視察する委員

● 一般質問 ●

一般質問に8人の議員が町の方針をたどしました



高畑 博行

現行の町内巡回バスの利便性を高めてほしいという声を多く聞きます。そこで次の点について伺いたい。

Q 現在の町内巡回バスの運営にかかる経費は。

A 町長 生涯学習課のバスが、臨時職員である運転手の賃金、バスの維持管理費、燃料費等で約77万円、福祉課のバスが、運転手委託料、維持管理費、燃料費等で約547万円、巡回バスの経費は合計約1千500万円となります。

Q 町内巡回バスの利便性を高めるために、

オンデマンド方式の導入を！

A 小山町地域公共交通会議で、公共交通のあり方を検討していきます

送迎バスの委託料として約70万円があります。

Q 4月に発定する予定の「小山町地域交通会議」のメンバー構成は。

A 町長 住民、利用者、事業者、タクシー事業者等です。

Q この会議はいつごろを目途に意見の取りまとめが可能か。

A 町長 本年度内に方向性を示せるよう取り組みます。

Q オンデマンド方式の調査分析の依頼は考えていないか。

A 町長 小山町地域公共交通会議において、巡回バス、

いて伺いたい。

Q オンデマンドバスやタクシーを取り入れている先進自治体の実態調査は。

A 町長 先進自治体の状況は、

市町が参加する担当事業会議などで意見交換をして把握

をしています。市町の意見は概ね肯定的なものが多く

ですが、事業者は固定人件費が増えるなど、苦慮しているという意見もあります。

Q オンデマンド研究の専門機関への調査分析の依頼は考えていないか。

A 町長 小山町地域公共交通



▲ 駿河小山駅前のタクシー



▲ 町内巡回バス

※オンデマンド方式の説明
デマンドは要求、希望という意味です。オンデマンドバスとは、利用者の要求に対応して運行する形態のバスです。

● 一般質問 ●



▲第4次小山町総合計画と町長のマニフェスト



湯山 宏一

Q 第4次小山町総合計画と町長のマニフェストとの整合性について

A 実施計画の策定シートを作成し、チェック項目を設け、確認してまいります

Q このほど策定された第4次小山町総合計画は、これからの町の10年間の政策を推進するための基本となる計画です。

込山町長は、「金太郎大作戦」と名付けたマニフェストを掲げて町長選を戦い、当選されました。

第4次小山町総合計画では、「町長選挙におけるマニフェストなどによる施策転換は、町民との協働の成果である総合計画の重要性を考慮し、必要な場合には総合計画策定に準じた手続きをもって、総合計画の見直しを行うものとする」としてあります。

A おつもりが、所信をお伺いします。

町長 第4次小山町総合計画は町民との協働を基本とし、町民企画委員会、地区懇談会、中学生未来会議の開催等、幅広く町民の意見を集め、総力を挙げて策定しました。

一方、選挙期間中に訴えてきたマニフェストは、私の理念、基本方針であり、金太郎のように元気のある小山町にするための提言として、3つの挑戦と10の戦略を掲げました。

以上を踏まえ、総合計画とマニフェストとの整合性についてお答えします。

第4次小山町総合計画は町民の総力を挙げ策定され、議会において全員賛成で可決されました。また、私も先の町長選挙において、このマニフェスト実現を公約に掲げ町民の信任を得ることとなりました。

したがって総合計画とマニフェストの間に大きな違いがあることはないかと理解しています。

具体的に、整合性を確認する手立てとして、実施計画の策定シートを作成します。このシートにマニフェストに掲げた戦略、取組みとのチェック項目を設け、確認します。その結果として、第4次小山町総合計画の見直しが必要である、との結論に至ったときは手続きのつとめて見直しをします。

● 一般質問 ●



湯山 鉄 夫

1、町が元気になるためには、町の産業が栄え経済活動が盛んでなければなりません。商業活動の活性化、新たな地域経済の展開を開く、積極的施策が不可欠ですが、次の点について、質問します。

Q 商業の振興、商店街の活性化の新たな施策について伺います。

A 町長 スピードウェイや富士霊園との連携を強化し、商工業の活性化を図ります。住宅建設助成や農商工連携移動マーケット事業の実施などの他、中小企業向け融資策の活用を支援します。

Q 工業企業の立地と誘致対策について伺います。

います。

A 町長 現在、町内には工業団地の造成計画などはないので、当面は閉鎖工場跡地や有効活用されていない工場用地を優先した企業誘致を進め、町内企業の空洞化に歯止めをかけたかと思えます。

Q 農業生産における畑作物の増産推進策についてどのように考えているのか伺います。

A 町長 野菜の商品種を重視してはなかったが、今後、野菜栽培を体系化し、生産拡大を行い、道の駅の活用により、農業の活性化と農業経営の安定化を目指します。

です。

Q 今後、町の観光事業を強化発展させる政策について伺います。

A 町長 行政・町民・各種団体・観光事業者の責務などを規定する観光振興条例を制定します。観光推進計画を策定し、観光政策と具体的な事業・施策を推進します。

2、次に町を囲む連山における治山治水対策について、今後どのような災害防止対策を考えているか伺います。

土砂や流木により発生した災害への対策として、災害復旧事業の早期完成、森林整備の促進、山地内の倒木処理を実施し、観測機器の有効性を研究します。砂

Q 1、町の産業振興と活性化施策について
2、町を囲む連山の治山治水対策について
A 観光推進計画を策定し、観光政策と具体的な事業・施策を推進します



▲活性化を目指す須走商店街（富士山開山式のパレード）

● 一般質問 ●



鷹嶋 邦彦

Q 光ファイバー通信網の整備について

A 県と連携し、新たな通信技術の動向を見ながら研究します

Q 光通信網はインターネットを中心に、テレビ・IP電話や留守の時も安心な防犯サービスなど、多くのサービスが受けられます。

これからは自分の主治医とつながった医療サービス

も行われようとしています。重病患者のデータを大病院や大病院へ送って、指示を仰いだり、手術を遠隔操作してもらったりと今までは考えられなかった、様々な使われ方が考えられます。

一番の特徴は大量のデータを速く送受信できることです。多くの企業はこれができるければ、町にやってきませんし、今、立地している企業も出て行ってしまう可能性もあります。住環境の整備にも、未来を託す

子どもの就職先、町の人口減少対策にも絶対的必要条件となります。町長は光ファイバー通信網早期設置について、どのような位置づけで考えられていられるのか伺います。

A 町長 光ファイバー通信網

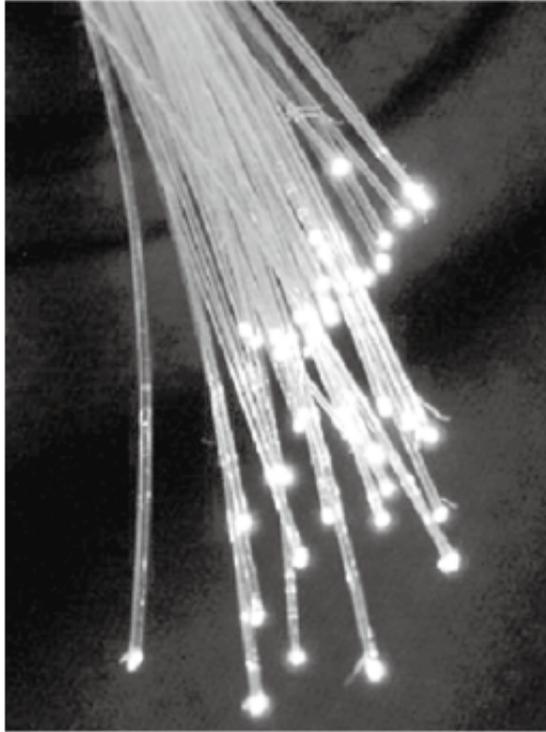
は、物流を支える交通網の整備と同じく重要な社会インフラであり、町を元気にする要と認識しています。したがって、マネIFESTにも掲げました。

町の現状は、須走地域では光ファイバー通信網が整備されていますが、それ以外の地域はADSLによる通信サービスにとどまっています。これは人口集中地域ではないことから、採算性の面で民間業者が参入しないことが考えられます。

静岡県では光ファイバー整備に係る補助制度により情報基盤整備を促進していますが、この制度を活用しても数億円の一財源が必要との試算があります。

一方、最近では超高速無線通信技術も実用化されようとしています。無線通信は災害時にも強く、また、無線通信を利用するスマートフォンやタブレット型端末の普及も加速しています。光ファイバー通信網と無線通信を組み合わせる等、工夫をすることも必要です。

県との連携はもろろん事業者に働きかけると共に、新たな通信技術の動向を見ながら研究します。町民の負担が少なく、かつ情報通信技術のサービスが享受できるように努力いたします。



▲様々な用途に利用されている光ファイバー

● 一般質問 ●



▲東日本大震災で被災した大碓町役場庁舎



渡辺悦郎

Q 町の危機管理態勢について

A 危機管理部門をより専門的な

組織として拡充していきたい

危機管理というものは、自然災害はもとより、連日報道されている病原性大腸菌O-111、O-157、欧州の方ではO-104のような食中毒、昨年のようにインフルエンザ等、多岐にわたっています。

町の体制も、防災監から危機管理監へとリンクアップされています。

そこで、災害が起きる前に態勢を整えることで、生命を守り、財産を保全し、安心・安全なまちづくりの観点から、次の点について、町の見解を伺います。

Q 複姓多岐にわたる業務遂行ができ、危機管理対応が迅速確実にできる組織、これをどのように考えているのか。

A 町長 町の危機管理態勢の現状ですが、住民福祉部の生活環境課に専任として参事職の危機管理監を配置し、兼任として生活安全ストップ2名を配置して、危機管理態勢をとっています。

が、災害に強いまちづくりのために実効性を重視した被災時の地域体制づくりの一つとして、危機管理(防災)部門をより専門的な組織として拡充していきたいと考えます。

Q 危機管理監を補佐する専任の人員について町の見解を伺

Q 危機管理監を補佐する専任の人員について町の見解を伺



▲全職員を対象とした普通救命講習

Q 町長 危機管理監を補佐する専任の人員については、当然、増加配置も必要と考えており、安心・安全なまちづくりの一環として、検討します。

● 一般質問 ●



米山千晴

Q エマルジョン燃料の積極利用について

A 町民いこいの家「あしがら温泉」で

実証実験を行っています

近年、原油価格の高騰や省エネルギー思想により、エマルジョン燃料の利用が注目されている。エマルジョン燃料とは、重油、灯油、軽油等に水と界面活性

剤を添加した燃料です。主な用途として、ボイラー用、ディーゼルエンジン用、自家発電や農業機械等の燃料として使用できます。

又、エマルジョン燃料の効果は、燃費の向上、窒素酸化物の削減、煤塵の削減などで、地球温暖化が進む現在、温室効果ガスや環境

負荷を低減させる燃料と考

えます。今後予想される景気の低迷等による、長期にわたる財源不足が懸念されています。

Q 当局から全町的に公的施設に積極的に取り入れるべきと考えるが、町の見解を伺います。

A 町長 町では、町内の事業所から同社が開発したエマルジョン燃料製造及び供給装置の町内施設等への導入

について提案があり、有志職員により平成21年度に「構造改革特区認定プロジェクト・チーム」を設置し、地球温暖化防止対策を

中心にエマルジョン燃料の利用について調査及び検討を行いました。

公用車への利用ですが、エマルジョン燃料製造等承認手続の構造改革特別区域計画認定の申請を行いました

したが、提案に対する対応を行うことは困難との回答であったため、断念しました。

次に、公共施設での使用についてですが、本年3月14日に装置導入に係る基本協定及び年度協定を事業者と締結し、町民いこいの家「あしがら温泉」で実証実験を行うこととしました。

今後そのデータを検証しながら、更なる導入について検討したいと考えています。



▲エマルジョン燃料を利用しているボイラー装置(あしがら温泉)

● 一般質問 ●



込山 恒 広

Q 町長の政策提言(マニフェスト)項目の

実現の可能性について

A マニフェストの実現にはスピード感を

持って取り組んでいく決意です

小山町の昨年9月8日の台風災害についても、まだ復旧が完了していません。その中で、町長のマニフェスト「小山町を元気にする金太郎大作戦」の戦略7の中にも、災害に強い町づくりを急ぐことも明記されており、その実施時期も設定されており、大変わかりやすい内容となっております。

しかし、実施時期を設定された87項目中41項目、約48%が、「すぐに実施」と「一年以内に実施」になっております。現在、災害復旧と災害に強い町づくりを優先して取り組む時期でもあり、この41項目すべてを一年以内に実施すること

については、現在の予算、組織等を考えますと相当のパワーが必要かと思いますが、実現可能なものかどうかお伺いします。

A 町長 先の臨時

議会で所信表明の際に申し上げたとおり、マニフェストの実現にはスピード感を持って取り組んでいく決意です。

マニフェストの各々の取組に実施時期を明記したのは、実現をするという決意の表れです。マニフェスト実現は最優先事項であり、予算面、マンパワーとも災害復旧と併せ、全てを注ぐこととなります。「すぐに実施」あるいは「一年以内」としたものは

実施計画に位置づけることが時間的に難しいため、すぐに実効性を発揮する手段を講じる必要があります。既に指示事項あるいは報告事項がスムーズに処理できるよう若干の事務分掌の変更を行いました。

さらに、組織の改正も視野に入れ適材適所の人事配置を行うことを考えています。6月1日付けの人事異動、あるいは6月議会での同意を頂いた副町長就任についても、マニフェスト実現に向けての具体的な対応として実施いたしました。今後もマニフェスト実現のためには、町民の声も考慮し柔軟に対応をしていきます。



▲復旧工事が進む野沢川

— 私からの提言 —

No.14



鴨井 久美子 (下本町区)

放送内容を考える 輪があれば!!

依頼を受けて何を書くのか絞れないのではと思いましたが、よい機会なのでまとめてみることにします。

この春、水菜漬けの販売にかかわり、品物不足に頭をかかえました。品不足と台風の関係で思ったのが驚がりです。無意識にいつも通りと言えるのは、順調な時でひとたび何かあれば、できていた事ができなくなります。危機管理として情報のありようを考えました。

小山町の情報手段のひとつに無線放送があります。伝える内容の選別は誰が誰に? 個人情報保護法の制定でお悔やみのお知らせなどは、どうなのか? 演習場使用計画は、どのくらいの人が毎日必要なのか? ニュースソースの選び直しや検討課題の会議はどのような頻度で行われ公開されているのか。情報にスピードと正確さが求められるだけに、日常的に世代をまたいだ検討があってもよいのでは? 公共の情報発信側と個人として必要な情報の多様性に対応できるしくみの充実を願います。

**皆さんの声を
募集しています!**
まちづくりや子ども
の教育のことなど、ど
んなことでも結構です
ので、あなたの住所、
氏名、電話番号を明記
してメール、ファック
スやお手紙で気軽に
お寄せください。
ご応募いただいた内
容は、広報委員会でき
考し、ご本人に承認し
ていただいた上で「議
会だより」に掲載す
ることとします。

議会へのメールアドレス gikai@fuji-oyama.jp

**会議録の閲覧が
できます**
議会だよりは、紙面
の都合により、議員や
町長等の発言を要約し
て掲載しています。
詳しく知りたい方は、
図書館で閲覧できます
ので、ご覧ください。
なお、6月定例会の
会議録は、8月下旬か
ら閲覧できます。
議会だよりは、町の
ホームページに掲載し
ていますので、ご覧
ください。

小山町のホームページ <http://www.fuji-oyama.jp>

訂正とお詫び
前号15ページの米山
元議員の質問の中で、
「教育行政について町
単独による運営経費負
担より広域化した方が
コストの削減になると
思うが今後の方針は」
との質問に答弁者が
「教育長」となってい
ましたが、「町長」の
誤りでした。訂正して
深くお詫びします。



▲小山町議会広報対策特別委員会のメンバー

- 〈編集委員〉
- 委員長 藤編 邦彦
 - 副委員長 高畑 博行
 - 委員 湯山 宏一
 - 委員 渡辺 悦郎
 - 委員 湯山 鉄夫

私たちには、自粛も然る
ことながら、思いやりの
気持ちをもちながら、
平素の形に戻す、明るさ
もまた必要であります。
戦後の目覚ましい復興
に改めて思いを馳せたい。
(藤編邦彦 記)

編集後記

改選後、新しいメン
バーと共に2年間広報編
集委員を仰せつかりま
した。私は4年ぶりの編
集委員ということで、不
慣れですが、親しみやす
く、読みやすい議会広報
を目指して頑張りますの
で、よろしくお願いま
す。

3月11日の午後2時48
分、大惨事が発生した。
東日本大震災である。4
県42市町村の沿岸部が破
害を受けた。大津波は福
島第一原子力発電所を破
壊し、放射性物質の拡散
を招いた。いわゆる三大
惨事である。亡くなられ
た方々に謹んでお悔やみ
申し上げると共に、また
被災された方々にお見舞
いを申し上げ、一日も早
い健康の回復と共に、復
旧・復興を祈っています。

